

# 『令和2年度“信州の木”建築賞』募集要項

地球温暖化に起因すると考えられる災害が世界各地で頻発する中、本県においても、昨年10月に発生した令和元年東日本台風が大きな災害の爪痕を残しました。今や気候変動への対処は人類共通の課題であり、本県においても、昨年12月に気候非常事態宣言（2050ゼロカーボンへの決意）を、本年4月には気候危機突破方針を策定し、取り組みを進めています。

建築・住宅分野が関係する家庭（及び業務）部門においても、二酸化炭素の排出量の削減は喫緊の課題であり、家づくりから住まい方まで、極力環境に負荷を与えない取り組みが求められています。

一方で信州は、豊かな自然環境、森林資源及び年間日射量に恵まれており、こうした気候・地域特性を活かし、併せて建築計画の工夫により、人々のふれあいを育み、豊かで健康的な暮らしが営まれる住空間を創造することが可能であり、これからのあるべき「信州の住まい」の姿が求められています。

平成28年度から実施している「“信州の木”建築賞」ですが、今年度は「環境に配慮した信州らしい住宅」をテーマに、環境との共生や木を活かす工夫などに、積極的に取り組まれた優れた事例を募集し、これを表彰することにより、これからの信州の住まいのあり方を具体的に提案するとともに、県民の皆様にも広く周知し、環境意識の啓発と、信州で活躍する事業者を奨励することを目的として開催します。  
※信州の木建築賞：優秀な建築物を表彰することにより、木造建築に携わる技術者等のスキルアップを図るとともに、広く県民に木造建築の魅力を発信し、その普及に寄与することを目的としています。

## 【応募テーマ】～環境に配慮した信州らしい住宅～

**主催** 長野県

**共催** 公益社団法人長野県建築士会、一般社団法人長野県建築士事務所協会、公益社団法人日本建築家協会・長野地域会 JIA 長野県クラブ、信州建築構造協会、長野県木材協同組合連合会

**募集期間** 令和2年7月1日（水）～ 令和2年8月31日（月）【必着】

**募集作品** 県内に存する木造の戸建て住宅<sup>※</sup>のうち、以下のすべてに該当するもの

- 1 平成27年4月1日から令和2年6月30日までに新築工事又は大規模改修工事が竣工したもの
- 2 次に掲げる項目を具現化したもの
  - ① 環境にやさしく、快適な住まい  
適切な断熱、自然エネルギーやバイオマスの利用、建築計画の工夫等により、環境への負荷を最小限に抑えつつ四季を通して快適なもの
  - ② 木を活かした住まい  
県産材など木材の積極的な活用により、温もりのある木づくりの住まい空間を創造しているもの
  - ③ 信州らしい住まい  
これからの信州の住まいのあるべき姿を積極的に提案しているもの

- ※ 店舗等の併用部分がある場合は、住宅部分が過半であること
- ※ 主要構造部の過半が木造であること
- ※ 過去の「“信州の木”建築賞」における受賞作品でないこと

**応募資格** 応募作品の**建築主、設計者又は工事施工者**（設計者等が複数の場合は連名の応募もできます。）。ただし、応募にあたっては、建築主、設計者及び工事施工者の同意の上で申し込んでください。

## 表彰賞

最優秀賞	………… 1点
優秀賞	………… 数点

## 表彰・公表

最優秀賞及び優秀賞は、記念の木製盾等を贈呈して表彰します。  
応募作品は長野県のホームページ等に掲載し、広く県内外に周知を図ります。

## 表彰式・受賞者プレゼンテーション

表彰式を**令和2年11月20日（金）に長野市芸術館アクトスペースで開催予定です。**  
表彰式では、最優秀賞等の受賞者の皆様に、作品について10分間程度のプレゼンテーションをお願いする予定です。

## 審査

**審査委員**（敬称略、五十音順）

審査委員長	<b>五十田 博</b>	国立大学法人京都大学生存圏研究所
審査委員	<b>新井 優</b>	公益社団法人日本建築家協会JIA長野県クラブ
	<b>高村 秀紀</b>	国立大学法人信州大学工学部
	<b>土屋 長命</b>	一般社団法人長野県建築士事務所協会
	<b>寺澤 雄治</b>	公益社団法人長野県建築士会
	<b>宮崎 正毅</b>	長野県木材協同組合連合会
	<b>山辺 豊彦</b>	信州建築構造協会

## 審査基準（主な評価点）

- ・ 設備機器や断熱材の性能のみによらず環境との共生について意欲的な取り組みがなされているもの。
- ・ 温もりのある木づくりの住まい空間を創造しているもの。  
また、県産木材の積極的な活用、適切な構造計画等、木の特徴や良さが信州における木造住宅等の模範となるようなもの。
- ・ これからの信州の住まいのあるべき姿を積極的に提案しているもの。
- ・ 信州の地域特性等を踏まえ、それを活かす工夫が建築計画においてなされているもの。
- ・ デザインに優れ、地域の文化や風土、まちなみや周辺の景観と調和がとれているもの。
- ・ 建設費やランニングコスト（光熱費等）の縮減等について考慮されており、今後の信州における木造住宅の普及に寄与すると考えられるもの。

## 審査方法

- **一次審査<書類選考> 9月中・下旬**
  - ・「応募書類」による書類選考を行ないます。
  - ・二次審査対象作品を選出します。
- **二次審査<現地審査> 10月上・中旬**
  - ・二次審査対象作品の現地審査（建物内外）を行います。  
なお、応募者等に、現地の立ち会いをお願いします。（説明を求める場合があります。）
- **受賞作品の決定 10月中・下旬**

## 応募方法

### 応募書類

応募概要書に必要な事項を記入し、応募シートを添付のうえ、郵送（宅配便可）又は持参してください。また、応募書類は保護のためにクリアファイル等に収納してください。

応募概要書 (A4 サイズ)	応募者、連絡先、作品概要、関係者、応募作品説明等を記入
応募シート (A3 サイズ、3枚以内)	A3 サイズ、3枚の枠内で、表現方法は自由です。 ①必須 配置図・平面図、写真（内観、外観各2枚以上） ②適宜 立面図・断面図ほか、コメント、 工夫した点の説明 等
上記書類の電子データ (CD1枚程度)	応募概要書、応募シートのexcelファイルまたはPDFファイルを、CD-ROM等により提出してください。

- 応募概要書、応募シートは、左上1箇所をクリップ等で綴じ、2部提出してください。
- Excelファイルの場合は、拡張子を.xlsx または .xls としてください。
- PDFファイルの場合は、写真データを別にCD-ROM等へ保存してください。

### 注意事項

- 郵送の場合、送料は応募者負担となります。送料が受取人払いのものは受領できません。
- 応募締切は令和2年8月31日(月)【必着】です。
- 郵送中の破損、遅延等については応募者の責任とします。
- 図面等の縮尺、紙質、色は自由とします。パネル化はしないでください。
- 応募書類以外の追加された資料は無効となります。
- 使用言語は日本語のみとします。
- 応募書類等は、返却いたしません。また、建築住宅行政の啓発活動のために利用させていただく場合がありますので、御理解、御協力をお願いします。
- 応募書類に記載の情報・写真についての公共印刷物（応募作品集、長野県ホームページ等）への使用権は、主催者に帰属します。
- 写真などについて、著作権等の問題が生じないよう提出前に必要な手続きを済ませてください。
- 一次審査通過作品には現地審査資料として、写真や図面等の追加書類を求めることがあります。

- 二次審査（現地審査）では、建物内部も支障のない範囲で審査します。なお、現地審査は事務局が指定する日となります。
- 募集要項に記載されている要件、注意事項等に適合していない応募については、審査対象となりませんのでご注意ください。
- 作品の応募については、複数応募していただいて支障ありません。（作品ごとに応募してください）
- 応募されました作品の一次審査の結果については、指定されたメールアドレスあてに通知します。（9月下旬頃予定）
- 本選考に係る審査の過程は、非公表とします。

### **お問合せ・応募書類送付先**

〒380-8570（長野県庁専用） 長野市大字南長野字幅下692-2

長野県 建設部 建築住宅課内「“信州の木”建築賞」事務局（担当：清水、塩川）

TEL 026-235-7339 FAX 026-235-7479

E-mail kenchiku-kikaku@pref.nagano.lg.jp